



徳島大学病院では、令和7年度の研修医を迎える準備を進めています。本院の4つの研修プログラムは、いずれも研修医の皆さんの希望をかなえられる自由度の高いプログラムを提供できるのが特徴です。卒後臨床研修センターは、研修医の皆さんが研修を通じて医師として求められるコンピテンシー（プロフェッショナリズム、資質・能力、基本的診療業務力）がしっかりと身につくよう細やかにサポートします。患者・家族を思いやる心、多職種連携によるチーム医療、EBM視点での医療の実践などの学びを深めてください。

本院と多様な協力病院の研修を組み合わせることで、common diseaseから地域医療や各診療科の最先端診療までバランス良く経験することが可能です。大学ならではのVR・高機能のメディカルトレーニング・ステーションでの臨場感溢れる実習に加え、ハンズオン実習やスキルアップレクチャーも利用して深い理解と実践的なスキルを習得してください。

医師としての第一歩を踏み出す研修医の皆さんには不安や戸惑いを感じることもあるかと思いますが、卒後臨床研修センターを中心に本院職員が皆さんに寄り添い、実りある研修生活を送ることができるよう全力で応援します。そして2年後の研修を終える頃には、各人が自信と希望を持って次の専門領域の扉を開く姿を期待しています。



病院長 香美 祥二

徳島大学病院 研修プログラム説明会

初期研修
および
専門医研修

2024年7月6日(土)に大塚講堂にて医学科学生・初期研修医を対象とした徳島大学病院臨床研修プログラム説明会を開催いたしました。

第一部では大ホールで初期臨床研修および専門医研修プログラムの説明を行ったのち、初期研修医より大学での研修についてお話いただきました。第二部は徳島大学病院の卒後臨床研修センターおよび各診療科(部・センター)による合同説明会をブース形式で行いました。県内の各施設だけでなく、四国内3県、大阪府や北海道の協力病院にもブースを開設いただき、徳島大学からだけでなく他大学も合わせて32名の医学生と31名の研修医の方々にお越しいただき、盛会となりました。平時におきましても、病院見学を随時受け付けています。



研修医教育活動

卒後臨床研修センターでは各診療科の先生方にご協力いただき、研修医教育講座とスキルアップセミナーを定期的に開催し、実臨床に役立つ知識や手技の教育を行っております。ご協力いただいております各診療科の先生方にこの場をお借りして御礼申し上げさせていただきますと共に、来年度以降に関しましてはご協力の程をよろしくごお願い申し上げます。

また、2024年10月12日(土)に開催された「総合メディカルゾーン本部合同災害対策訓練」には当院の研修医の多田先生が参加し、災害時医療体制の検証を学ばせていただきました。

その他、卒後臨床研修センター講義室にてネイティブの講師による英会話教室を定期開催しています(詳細は卒後臨床研修センターのHPをご参照ください)。

上記のスキルアップセミナーや英会話教室に関しては、医学部の学生さんにも門戸を広げていますので、ぜひご相談ください。



総合メディカルゾーン本部合同災害対策訓練

エコー実習



CVC講習会

県外広報

2024年5月26日(日)大阪、9月15日(日)岡山にてレジナビフェアが開催され、徳島大学病院も現地参加いたしました。研修医たちはブースに来てくれた多くの学生に一生懸命対応してくれていました。また、大阪では“すだちくん”も駆けつけてくれて、徳島県内の関連病院ブースを盛り上げてくれました。1人でも多くの研修医が徳島に来てもらえるよう、来年度も頑張ります!



スキルアップセミナー



英会話レッスン

徳島医学会学術集会

2024年7月21日(日)に第269回徳島医学会が開催されました。徳島大学病院からは4名が下記診療科の御指導による演題発表を行い、秋澤 聡秀 先生が第32回若手奨励賞を受賞されました。熱心にご指導いただきました各診療科の先生方には厚く御礼申し上げます。



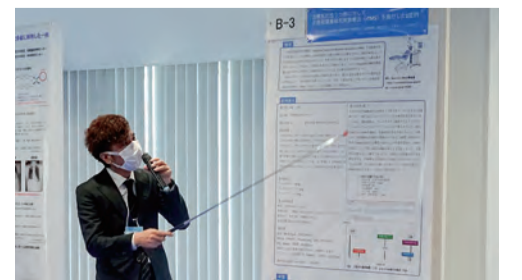
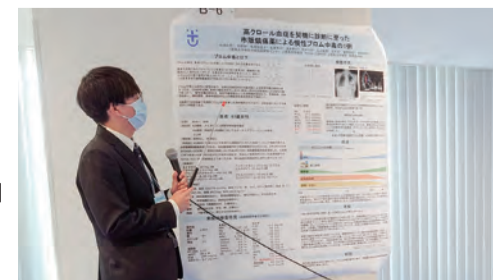
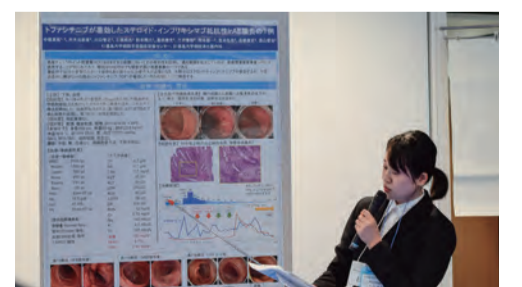
前回(第268回・第31回若手奨励賞)の受賞者(左から2番目: 遠藤 裕美 先生)

伊藤 直司 先生(1年目)
循環器内科、心臓血管外科 [左上]

奥村 真佑 先生(1年目、旧姓:中根)
消化器内科 [右上]

秋澤 聡秀 先生(2年目)
内分泌・代謝内科、循環器内科 [左下]

西村 運平 先生(2年目)
精神科神経科 [右下]



徳島大学病院 診療科案内

お問い合わせは
【初期研修】卒業臨床研修センター
E-mail: bsotsugo@tokushima-u.ac.jp
【専門医研修】キャリア形成支援センター
E-mail: bcareer@tokushima-u.ac.jp

循環器内科

(科長 佐田 政隆)

循環器内科は、虚血性心疾患や不整脈、構造的な心疾患に対するカテーテル治療や画像検査、心臓リハビリなど幅広い領域をカバーしています。循環器救急24時間体制を構築しており、徳島県内の各種医療機関との病診連携も積極的に行っています。初期ならびに専門医研修については、四国はもとより東京、大阪、神戸、沖縄、静岡、愛知、熊本などの県外医療機関と連携して各自の将来設計に柔軟に対応できるプログラムを提供しています。



連絡先 佐田 政隆 masataka.sata@tokushima-u.ac.jp
山口 浩司 yamakoji3@tokushima-u.ac.jp
(卒業後研修主任) tel.088-633-7852 fax.088-633-7894
https://www.cv.din.med.tokushima-u.ac.jp/index.html

呼吸器・膠原病内科

(科長 西岡 安彦)

肺癌、間質性肺炎、呼吸器感染症、気管支喘息、膠原病を中心に、指導医・専門医のもとチーム医療を推進しています。呼吸器病学、膠原病学に加え、臨床腫瘍学、感染症学、アレルギー学、免疫学等の幅広い分野の臨床経験が積めることは当科の特徴です。肺癌や間質性肺炎の治験・臨床試験に積極的に参加し、国内外の留学による研修等を通じ常に総合力アップを意識し、全国レベル・国際レベルの医療人育成を目指しています。



連絡先 佐藤 正大 sato.seidai@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7127 fax.088-633-2134
https://plaza.umin.ac.jp/sannai/

消化器内科

(科長 高山 哲治)

当科では消化器疾患の診療を中心に、内科を幅広く診療できる医師の育成を目指しています。消化器診療においては、早期胃癌・食道癌・大腸癌に対する粘膜下剥離術(ESD)を多数行い、肝臓に対してはラジオ波焼灼術や高度なインターベンション治療を多数行っています。また、種々の進行消化器癌に対して最新の分子標的治療薬を含めた質の高い化学療法を行うとともに優れた全身管理を行っています。当科における研修システムでは指導医が充実しており、指導医と研修医が一体となって最善の医療を提供しております。

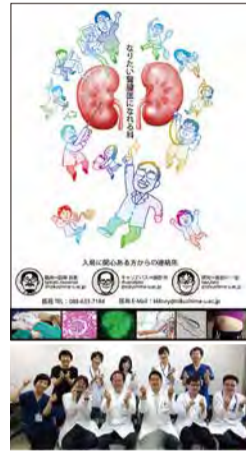


連絡先 岡田 泰行 yokada@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7124 fax.088-633-9235
https://www.tokudai-shoukaki.jp/

腎臓内科

(科長 脇野 修)

腎臓内科では、県下一円から難治性の腎疾患患者を受け入れています。腎臓内科の診療活動は、ネフローゼ症候群・腎炎などの腎疾患の診断治療、末期腎不全の透析導入、透析室管理、他科よりのコンサルテーション臨床の4つの柱からなっています。糖尿病、高血圧、膠原病など全身性疾患からの腎障害も多く、広く内科全般に渡る症例を経験するとともに、急性腎障害を含めた透析管理、電解質管理を研修していただきます。横断的な腎移植、小児腎、透析栄養カンファも行っていきます。当科での取得可能専門医:内科・総合内科・腎臓・透析。



連絡先 長谷川 一宏 kazuhiko@tokushima-u.ac.jp
田時 昌憲 tamaki.masanori@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9116 fax.088-633-9245
https://tokudai-kidney.jp/

内分泌・代謝内科

(科長 遠藤 逸朗)

内分泌代謝疾患には糖尿病、脂質異常症、甲状腺機能異常、二次性高血圧、骨粗鬆症など、日常診療で遭遇する頻度が高い疾患が含まれます。また、内分泌代謝疾患診療では、患者さんの全身を診るのみならず、その社会的背景も勘案した治療方針を考える必要があります。当科では、臨床医に必要とされる幅広い病態の理解と的確な診断能力、そして最善の治療方針を立案できるスキルを身につけることができる教育、指導を行っています。



連絡先 遠藤 逸朗 endoits@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7120 fax.088-633-7121
http://www.tokudai-ichinai.jp/
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=4

血液内科

(科長 松岡 賢市)

血液内科では、貧血・血小板減少・凝固異常といった日常的に経験される良性血液疾患への対応から、白血病・リンパ腫などの造血器悪性腫瘍に対する集学的治療まで、様々な血液疾患の診療を行っています。最近では造血細胞移植やCAR-T細胞療法などの新規治療技術を導入し、それぞれの患者に応じた個別化治療を展開しています。こうした診療経験を通じ、血液診療への理解を深めるとともに、広い分野において総合力を持って活躍できる医師の育成を目指しています。



連絡先 原田 武志 takeshi.harada@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7120 fax.088-633-7121
http://www.tokudai-ichinai.jp/

脳神経内科

(科長 和泉 唯信)

徳島大学脳神経内科は、「治る脳神経内科」をモットーに、コモンな疾患(脳卒中、認知症、頭痛、てんかん、しびれ等)から神経難病まで幅広くカバーします。専門性に関して、ALSと不随意運動の診療・治療、電気生理検査を伝統的に得意とし、脳血管内治療の指導医も在籍しています。徳島では、神経疾患が大病院に集中し、これは臨床の技や考え方を磨くにあたり大きなアドバンテージです。ぜひ徳島大学脳神経内科で研修して下さい。短い期間の研修も大歓迎です!



連絡先 藤田 浩司 kfujita@tokushima-u.ac.jp
(医局: neuro@tokushima-u.ac.jp)
tel.088-633-7207 fax.088-633-7208
http://www.neuro-tokushima.com

総合診療部

(部長 八木 秀介)

近年、高齢化や生活習慣の変化に伴って慢性疾患の増加や疾病の多様化が目立っています。総合診療部では、患者さんの年齢・性別や臓器、疾患の種類を限定せず、症状や検査データに加えて、患者さんの社会的背景、心のケアを含めた総合的視点で、包括的・全人的医療に取り組んでいます。また、2018年度に開始された新専門医制度における「総合診療専門医」の専門研修基幹施設として、徳島県内の様々な医療機関と連携して、未来の総合診療医の育成にも力を入れています。



連絡先 八木 秀介 syagi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9656 fax.088-633-9687
https://www.tokushima-hosp.jp/department/circulatory_center.html?view=1&rank_code=center&belong_code=c51

心臓血管外科

(科長 秦 広樹)

当科では成人心疾患、先天性心疾患、大動脈・末梢血管疾患、重症心不全など広くカバーしています。低侵襲手術や最新デバイスを用いた先進的手術が多くなりつつも新入局の先生も含め若手医師の執刀症例が増えています。手術手技や周術期管理の習得に加え、基礎・臨床研究や論文執筆もできるバランスの取れたAcademic Surgeonの育成を目指し、国内外の施設への留学や医療支援の輪も回っています。興味のある方は一度見学にお越しください。



連絡先 菅野 幹雄 msugano@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7152 fax.088-633-7408
https://tokudai-cvs.jp

食道・乳腺甲状腺外科

(科長 後藤 正和)

食道、乳腺、甲状腺疾患について診断から治療まで幅広い研修が可能です。高難度手術である食道癌手術の修練を行う食道外科専門医認定施設であり、乳癌の治療実績も豊富で、甲状腺疾患に対する内視鏡手術にも取り組んでいます。基本的な外科手術、周術期管理、患者さんに合った医療を多職種と共に学び、執刀経験を積むことができます。希望する領域の専門医を取得可能な環境が整っています。興味のある方は是非ご連絡ください。



連絡先 後藤 正和 mgoto@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7143 fax.088-633-7144
https://www.tksbizan.com

呼吸器外科

(科長 滝沢 宏光)

肺・縦隔・胸壁の腫瘍性疾患を中心に、気胸、膿胸など呼吸器外科疾患全般に関して診療を行っています。最近では、ロボット支援手術や単孔式胸腔鏡手術、進行肺癌に対する機能温存を目指した集学的治療(生検、術前マーキング、光線力学療法、気道ステント留置など)にも強いところが当科の特色です。呼吸器外科を志す人にとって充実した環境を提供できると思います。興味のある方は是非ご連絡ください。



連絡先 滝沢 宏光 surgery2@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7143 fax.088-633-7144
http://www.tksbizan.com/

泌尿器科

(科長 古川 順也)

徳島大学泌尿器科専門研修プログラムでは、幅広い診療拠点病院と教育関連施設で研修を受け、確かな臨床スキルを身につける充実した研修が行えます。また、泌尿器科におけるサブスペシャリティ領域(腹腔鏡手術、ロボット支援手術、腎移植、透析、小児泌尿器科、女性泌尿器科など)の専門性の高い研修も可能です。基幹施設である徳島大学病院では、希望により大学院進学、国内・海外留学も可能で、個々の志向やキャリアプランに合わせた柔軟な研修が可能です。泌尿器科に興味を持つ熱意ある先生を心よりお待ちしております。



連絡先 布川 朋也 fukawa.tomoya@tokushima-u.ac.jp
古川 順也 jfurukawa@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7159 fax.088-633-7160
http://tokushima-u-urology.jp

消化器・移植外科

(科長 島田 光生)

全国に通用する一流の外科医の育成環境が整っています。肝胆膵領域では高難度手術・生体肝移植を行い、徳島唯一の高度技能修練施設A指定を受け、高度技能専門医は5名で全国トップクラスです。2023年からは肝胆膵ロボット手術も導入し、1年で30例のロボット肝切除を行いました。消化管領域では9名の内視鏡外科技術認定医が胃癌・大腸癌手術の執刀・指導を行い、ロボット手術や直腸癌に対する経肛門手術(TaTME)の症例数は全国屈指です。若手の執刀機会も多く、最速での各専門医取得が可能です。

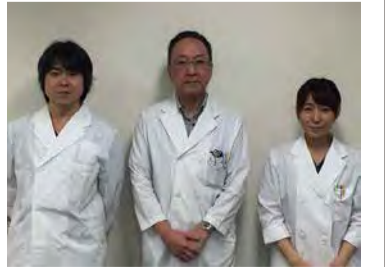


連絡先 齋藤 裕 saito.yu.1001@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7139 fax.088-631-9698
http://www.tokugeka.com/surg1/index.html

小児外科・小児内視鏡外科

(科長 石橋 広樹)

①小児外科の広範な疾患に対する治療: 四国の小児外科の中心的施設として、胸部、腹部をはじめ小児悪性腫瘍および、泌尿器科領域まで広範な疾患をカバーしています。
②小児外科領域での鏡視下手術: 小児単径ヘルニアに対するLPEC法の他、ヒルシュスプリング病、鎖肛、GERDなどに対しても積極的に鏡視下手術を施行しており、中国・四国地方では、唯一の日本内視鏡外科学会技術認定医(小児外科)が在籍しています。



連絡先 石橋 広樹 hiroki@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9276 fax.088-631-9698
http://www.tokugeka.com/surg1/index.html

眼科

(科長 三田村 佳典)

人間は外界からの情報の80%を視覚から得ており、高齢化社会を迎え眼科の重要性は増すばかりです。当教室では網膜硝子体、緑内障、角膜炎、斜視弱視、ぶどう膜炎、眼瞼眼窩、神経眼科といった広範囲の専門分野を研修することが出来ます。また、最新の画像診断技術や人工知能を用いた質の高い眼科画像解析を行っております。ぜひ、我々とともに活気あふれる教室を作ってゆきましょう。



連絡先 三田村 佳典 ymitaymitaymita@yahoo.co.jp
tel.088-633-7163 fax.088-631-4848
http://www.tokushima-ganka.jp

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

(科長 北村 嘉章)

耳鼻咽喉科・頭頸部外科は、呼吸、嚥下など生命に不可欠な機能と、聴覚、嗅覚、味覚、平衡覚など感覚器のほとんどを扱います。すなわち、人が人らしく生きるために必要な機能を治療し、患者さんが楽しく人生を送るための手助けをします。ロボット手術や内・外視鏡手術から内科的な免疫アレルギー疾患、リハビリまで担当範囲は想像以上に広く、興味の尽きることはありません。卒後臨床研修にぜひ、選択していただきたいと思えます。



連絡先 東 貴弘 azuma.takahiro@tokushima-u.ac.jp
(総務医長) tel.088-633-7169 fax.088-633-7170
http://www.toku-oto.umin.jp

整形外科

(科長 西良 浩一)

整形外科は骨・筋肉・関節・神経・靭帯など運動器を幅広く扱う診療科です。ひとたび運動器が障害されれば、人間らしい生命活動は満足に行うことが出来ません。すなわち、運動器は人間が人間たる所以を發揮するのに、最も重要な器官ともいえます。整形外科は老若男女、全身(上肢・下肢・体幹)をカバーするため守備範囲が広く、国民から最も必要とされています。徳島から世界にはばたく整形外科になりませんか。



連絡先 西良 浩一 seikei2@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7240 fax.088-633-0178
http://www.utokushima-orthop.com/

皮膚科

(科長 久保 宜明)

皮膚科は現在、14人で毎日平均70人の外来患者、8人の入院患者を診ながら、教育、研究を行っています。過去10年間の新入医員は年平均2人です。後期研修の目標は、①実学としての皮膚科学の習熟、②皮膚科専門医取得、③研究です。全て卒業後が勝負で、体力、気力、好奇心をもち、皮疹を通してさまざまな病態を柔軟に考え加療して下さい。また研究にも興味を示してほしいと思えます。いずれにせよ、皮膚科を選んだことを後悔することはありません。



連絡先 久保 宜明 kubo@tokushima-u.ac.jp
仁木 真理子(総務医長) niki.mariko@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7154 fax.088-632-0434
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=17

形成外科・美容外科

(科長 橋本 一郎)

形成外科は、身体の組織の変形や欠損に対して、より正常に近づけることを目的とする外科系の専門領域です。当科の研修プログラムは、基本的な手術手技の習得から始まり、大学病院と連携施設で研修することで、頭頸部や乳房再建などに必要なマイクロサージャリーの技術や、顔面骨折などの外傷、口唇口蓋裂などの体表先天異常の治療に必要な高度な技術以外に、美容医療に関するレーザー治療や注入術も習得することが可能です。



連絡先 峯田 一秀 keisei@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7296 fax.088-633-7297
https://plaza.umin.ac.jp/tokudaikeisei/

脳神経外科

(科長 高木 康志)

脳神経外科は、common diseaseである脳血管障害、頭部外傷、脊椎脊髄疾患に加え、脳腫瘍、機能的疾患、小児神経疾患など様々な疾患を対象とします。徳島大学病院では脳卒中センターを有しており、将来進む科にかかわらずすべての初期研修医が、脳卒中診察、脳血管外科手技、脳血管内治療について学べるシステムを提供しています。また、ウェブカンファレンスシステムを用いて、関連病院間でのカンファレンスが可能で、専門知識の習得が行えます。後期研修では、脳神経外科疾患全般に対応できる能力を身に付けるだけでなく、興味を持つ専門領域の技術を獲得できるようにバックアップします。



連絡先 中島 公平 knakajima@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7149(内線 3246) fax.088-632-9464
https://tokushima-nougeka.jp/

麻酔科

(科長 田中 克哉)

初期研修プログラムではどの科に進んでも必要な呼吸循環管理ができることを目標としています。麻酔科では、適切な麻酔をかけるだけでなく、手術や麻酔薬の影響で刻々と変化する全身の病態を早期に評価し、制御しています。気道確保など生命に直結する手技の習得と全身管理の面白さを体験できます。後期研修プログラムでは関連病院も含めてローテーションすることであらゆる症例や状態に対応できる麻酔科医を養成しています。



連絡先 田中 克哉 katsuya.tanaka@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7181 fax.088-633-7182
http://tokudaimasui.jp/

精神科神経科/心身症科

(科長 沼田 周助)

精神疾患を有する総患者数は400万人を超え、精神疾患は国の定める5大疾病の1つです。社会における精神科医の診療の役割と責務は非常に大きく、今、精神科医が求められています。精神科は小児から老人まで非常に守備範囲の広い診療科であり、自分のライフスタイルや興味に合わせて方向性を選択することができます。大学病院はもちろんのこと、大学病院関連研修施設の指導体制も充実しています。ぜひ徳大精神科で研修してください。



連絡先 梅原 英裕 umehara.hidehiro@tokushima-u.ac.jp
(医局長) tel.088-633-7130 fax.088-633-7131
http://tokushima-psychiatry.jp/

小児科

(科長 漆原 真樹)

「子どもの健康を守ることのできる小児科専門医を育成すること、更に小児科サブスペシャルティ(専門分野)を含めた診療能力の養成とキャリア形成」が小児科医局員の目標です。小児救急医療(プライマリケア)、新生児医療から専門性の高い最新の医療まで幅広い知識と診療能力を習得できるよう、新しいことに挑戦し、日々診療に研究に努力しています。我々の未来である子ども達のために、小児医療に興味がある医師の方と共に頑張っていきたいと思っています。小児科への入局を心からお待ちしております。

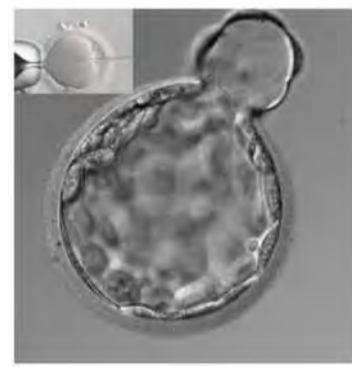


連絡先 杉本 真弓 sugimoto.mayumi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7135 fax.088-631-8697
http://www.tokudai-pediatrics.net/

産科婦人科

(科長 岩佐 武)

産科婦人科には生殖、腫瘍、周産期、女性医学の4領域がありますが、徳島大学病院では全領域の診療に加えて、それらに関連する基礎的および臨床的研究を行っています。4診療部門すべてが揃う強みを活かして、バランスのよい研修生活を送っていただけるよう努めています。産科婦人科に興味のある方はお気軽に御連絡下さい。



連絡先 吉田 加奈子(総務医長) yoshida.kanako@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7177 fax.088-631-2630
http://www.tokudai-sanfujinka.jp/Total/index.html

放射線診断科

(科長 原田 雅史)

放射線診断科では画像診断(CT、MRI、核医学、超音波、消化管透視等)やIVR(血管内治療、CTガイド下生検等)をはじめ、最先端の脳機能MRIやアミロイドイメージング、凍結療法等を行っており、全国トップクラスの環境と技術を誇っています。新たに人工知能(AI)の診断補助プログラムも導入し、遠隔診療を含めたIT技術を活用して高度な医療システムにも対応しました。これらにより多様な柔軟性と幅広い動き方が可能であり、個人の特性と環境に応じた選択が行え、仕事と私生活のバランスをとることが可能です。多くの医師が興味をもって来ていただければと思います。

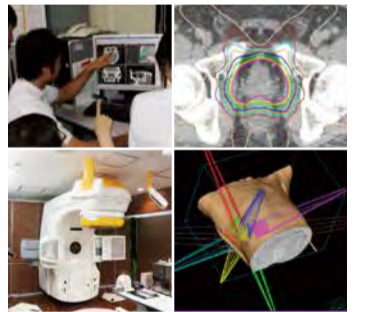


連絡先 原田 雅史 masafumi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7173(内線 9283) fax.088-633-7468
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=25

放射線治療科

(科長 生島 仁史)

徳島大学病院放射線治療科は3台の高精度外部放射線治療装置(リニアック)と10台の三次元放射線治療計画装置、そして前立腺癌や子宮頸癌、乳癌等に対する密封小線源治療システムを有し、1年間に約1000人の患者を受け入れている国内でも有数の放射線治療施設です。粒子線治療を除くすべての放射線治療の研修が可能であり、多くの診療科と連携しながら集学的がん治療を実践する中で、最新放射線治療技術を習得したがんプロフェッショナルを育成しています。



連絡先 川中 崇 kawanaka@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7173 fax.088-633-7468
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=26

救急集中治療科

(科長 大藤 純)

重症患者は様々な臓器に問題を抱えており、治療には呼吸や循環、感染症、栄養、腎・酸塩基平衡などに関する幅広い知識と病態を総合的に評価する力が必要です。救急集中治療科では、重症新型コロナウイルス肺炎を含む急性呼吸不全、循環不全、重症感染症や開心術後など、多様な重症患者の診療に携わり、人工呼吸、急性血液浄化、ECMOなどの高度な集中治療を通じて知識や技術、判断力を身につけることができます。急性期医療や重症患者管理に興味がある人は一緒に働きましょう。



連絡先 大藤 純 joto@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9347 fax.088-633-9339
http://www.tuh-ericu.org/

リハビリテーション部

(部長 松浦 哲也)

リハビリテーション部では、各種疾患により生じた障害を克服すべく、患者さんとともに「今後目指すべき生活・人生の姿」のゴールを設定し、その目標に向かって様々な訓練を行っています。疾患そのものより、疾患を負った患者さんを総合的に診断・治療することに興味を持つ研修医の方々には最適な診療科です。患者さんに寄り添いながら、全人的な診療を目指しましょう。



連絡先 松浦 哲也 tmatsu@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9313 fax.088-633-7204

病理部

(部長 上原 久典)

病理部は、病理組織診断・細胞診断を行うことにより、院内で実施される医療行為にevidenceを与える仕事を担っています。全国的に病理専門医数は絶対的に不足しています。医療界全体が病理医の育成、獲得に必死になる時代が到来しています。研修にあたっては、各人の事情(婚姻、子供の有無、勤務時間等)を考慮し、弾力的に対応します。病理診断に興味のある研修医を心からお待ちしています。



連絡先 上原 久典 uehara.h@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7454 fax.088-633-9565
https://macro396.wixsite.com/tuhdp

研修医紹介

2

2年目研修医

秋澤 聡秀
あきさわ そうしゅう



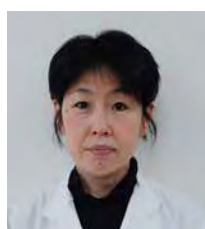
初期研修も終盤になり、しっかりと後期研修へ繋げられるように残りの期間も精進します。

遠藤 鋭人
えんどう はやと



外科志望として毎日各科での研修の日々です。最近勉強が楽しいので高みを目指してまだまだ頑張ります。

遠藤 裕美
えんどう ひろみ



まだまだ未熟でご迷惑をおかけしますが、将来の夢に向けてやるべき事をやっていきたいと思っています。

大塚 真人
おおつか まこと



残りの研修期間も引き続き、患者さんの治療に貢献できるよう、研修に励んで参ります。

酒巻 悠太
さかまき ゆうた



研修医も残すところあと少しとなりました。最後まで意欲的に学んで3年目に繋げていきたいです。

佐々木 遼太
ささき りょうた



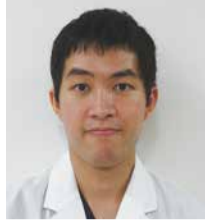
地域医療に貢献できる医師を目指して精進して参ります。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひします。

西村 運平
にしむら うんぺい



成長を感じる一方、初心が薄らいでいるという自省もあります。今一度気を引締め邁進する所存です。

本多 哲也
ほんだ てつや



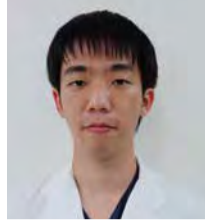
研修医としての日々も残り少なくなりましたが、後悔のないよう、精進して参ります。

大西 裕子
おおにし ゆうこ



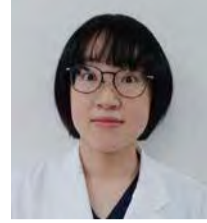
研修医生活残り僅かですが、悔いの残らないよう、学び残したくないよう頑張っています。

上荷 康平
うわに こうへい



8月から大学病院に復帰しました。焦らずに自分のペースでがんばっていききたいと思っています。

多田 里穂
ただ りほ



初期研修も残りわずかとなりました。少しでも多くのことを吸収するため、積極的に取り組みます。

手束 宏明
てつか ひろあき



研修期間も終盤に差し掛かっていますが、残りの期間も、初心に戻ってより一層精進して参ります。

1

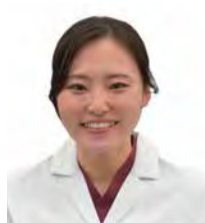
1年目研修医

伊藤 直司
いとう なおし



時には道の草木に目をやり、鳥のさえずりに耳をかたむけ、花のにおいをあじわう。頑張ります。

井上 満理奈
いのうえ まりな



日々成長できるよう努力いたします。何卒ご指導のほどよろしくお願ひいたします。

松本 知大
まつもと ともひろ



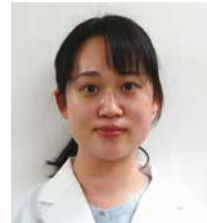
毎日楽しく初期研修をさせていただいております、これからもよろしくお願ひします。

茂木 勝矢
もてぎ かつや



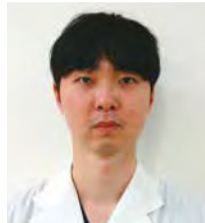
患者様一人ひとりに寄り添い、信頼される医師を目指して日々精進してまいります。

奥村 真佑
おくむら まゆ



日々多くのことを学べるように頑張りたいです。これからもご指導よろしくお願ひいたします。

山田 青季
やまだ はるき



初期研修も瞬く間に半年が経ちました。残りの期間で医師としての土台をしっかりと築きたいです。

研修医奮闘記「初期研修を振り返って」

2年次研修医
手束 宏明 先生



メディカルゾーン重点研修プログラム

<研修病院・施設>

徳島大学病院 / 徳島県立中央病院 / 徳島県立三好病院
徳島県立海部病院

私はメディカルゾーン重点研修プログラムに属しており、半年間徳島県立中央病院で研修をさせていただきました。未経験の救急対応だけでなくカルテの仕様も違ったため、正直最初はかなり大変な思いをしました。ですが貴重な経験を多く積むことができ、有意義な研修期間だったと思います。

一方で、徳島大学病院の研修にも良い所が沢山あります。まずは、診療科ローテーションを自由に組むことができる点です。順序立ててローテを組むことで効率的な研修になり、希望診療科を多めに回することも可能です。また、関連病院へ出向くこともでき、「この診療科はこの病院で研修したい」といった希望を出すことも可能です。医学生の皆さんは、徳島大学病院の研修プログラムもぜひご検討ください。

2年次研修医
多田 里穂 先生



メディカルゾーン重点研修プログラム

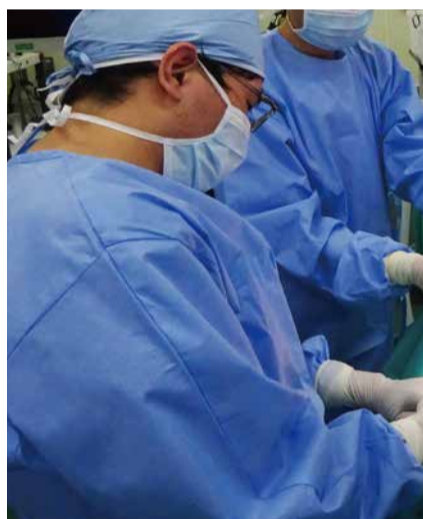
<研修病院・施設>

徳島大学病院 / 徳島県立中央病院 / 徳島県鳴門病院
徳島県立三好病院 / 徳島県立海部病院

初期研修医2年目の多田里穂と申します。私は徳島県内の様々な地域で研修したいと考え、メディカルゾーン重点研修プログラムを選択しました。その希望を叶えていただき、この2年間で徳島大学病院、三好病院、海部病院、県立中央病院、鳴門病院で研修させていただきました。三好や海部では高齢者医療を、鳴門では整形疾患を重点的に学ぶことができました。また、釣り針が刺さった、虫にかまれたなど徳島市内では珍しい症例も経験できました。複数病院で研修させていただくことで、各病院の有名な診療科や特徴的な疾患を学べることも徳島大学病院の研修の魅力だと思います。

最後に2年間お世話になった卒後の先生方、事務の皆様にお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

2年次研修医
遠藤 鋭人 先生



AWAすだちプログラム

<研修病院・施設>

徳島大学病院 / 枚方公済病院 / 医療法人いちえ会伊月病院

研修医生活も残りあと僅かとなり日々の速さに驚くばかりです。僕の初期研修は挫折の多い苦難の道だったと感じています。教えてもらったことが上手くできなくて辛い時期もありました。でもいつも先輩医師や同期、他職種の方々、ときには患者さんが支えてくださってここまで乗り越えてこられました。そうして、2年間を振り返ってみると、挫折してそれを乗り越えてきたということが自分の中でとても大きな力となっているのです。なので、これからも困難を恐れず前を向いて理想の医師を目指していきたくです。

最後に、この2年間僕に関わり、育て、導いてくださった全ての方に感謝を申し上げます。いつかまた出会えた時に成長した姿をみせられるよう今後とも精進いたします。

医員募集

令和7年度の医員募集情報

徳島大学病院では、下記の要領で、令和7年度の医員(卒後3年目以降の専門医研修者を含む)を募集します。

令和7年度の医員募集の概要

条件	医師免許取得後2年以上臨床研修を行った者または、令和7年3月までに卒業臨床研修を修了(予定)している者。
募集人数	170名(ただし、専門医研修希望者はすべて受け入れます)。
処遇	国立大学法人徳島大学有期雇用職員就業規則による。
募集のための書類	希望する診療科または、法人運営部人事課蔵本人事係にお問い合わせください。 法人運営部人事課蔵本人事係 Tel.088-633-7018 Fax.088-633-7474
募集の締め切り	令和7年1月31日(金)
問い合わせ先	採用希望される場合は、随時、各診療科または、病院キャリア形成支援センター(総務課専門研修係)までお問い合わせください。 病院キャリア形成支援センター(総務課専門研修係) Tel.088-633-9976 Fax.088-633-9543 E-mail: bcareer@tokushima-u.ac.jp https://www.careercenter-dr.jp/

ホームページ

卒後臨床研修センターでは、随時ホームページを更新しています。医学生に向けた研修プログラムのデジタルパンフレットを公開中です。その他、研修プログラムの情報や研修医のブログなど様々な情報を配信しておりますので、ご興味のある方は卒後臨床研修センターホームページを是非ご覧ください。病院見学もホームページから申し込みます。■ニュースレターに関するご意見・ご要望など、お気軽にお寄せください。

POGEC 卒後臨床研修センター
The Post-graduate Education Center

徳島大学病院 卒後臨床研修センター

Tel: 088-633-9359 Fax: 088-633-9358

E-mail: bsotsugo@tokushima-u.ac.jp URL: https://www.tokudai-sotsugo.jp

